



公益社団法人 兵庫県放射線技師会
神戸市中央区元町通 5-2-3-1011
TEL : 078-351-5172
FAX : 078-351-2309
<http://www.hyogo-rt.org/>
発行者/播間 利光
編集責任者/吉井 勝

第24回兵庫県放射線技師会学術大会 演題募集のお願い

第24回兵庫県放射線技師会学術大会 演題募集締め切り迫る… !
日ごろの業務(研究)の成果をご発表よろしくお願ひします。

演題募集 : 一般演題 「自由演題」

テーマ演題 「PACS・医療安全・技師読影技術・放射線被ばく」

申込み方法 : 前抄録としてワード形式A4サイズ 1枚 を下記の方法にて申し込んで下さい。

(出来るだけ、ご発表内容がわかるようにA4 1枚をフルにお使いください。)

《メール》 E-mail : gakujyutu8403@yahoo.co.jp (半部あて)

《郵送》 CDにて下記までお願いします。

〒650-0022 神戸市中央区元町通5丁目2-3-1011

公益社団法人 兵庫県放射線技師会 宛

《抄録原稿の書式》

詳細は、8月シャーカステンをご覧ください。

演題募集期間 : 平成24年8月7日～平成24年9月7日まで

(事情により期限を過ぎる場合、ご相談ください)

【学術大会開催内容】

日時 : 平成24年11月23日(祝・金曜日) 9:30～17:00(終了予定)

会費 : 会員 1,000円 会員以外 2,000円

大会テーマ : 「価値への創造」 ～安心できる医療を求めて!～

場所 : 神戸西区民センター なでしこホール

〒651-2273

神戸市西区糀台5丁目6-1 (神戸市営地下鉄・「西神中央駅」下車、徒歩約3分)

【特別講演】

「原子力災害における診療放射線技師の役割」

講師 : 三菱神戸病院 顧問医師 衣笠 達也 先生

【ランチョンセミナー】 60名 2会場予定しています。

【市民公開講座】

「スポーツの魅力……チャレンジし続けるということ」(仮テーマ)

講師 : 元スポーツ選手の講演を予定しています。

お問い合わせ : 明舞中央病院 放射線科 078-917-2020 内線126

学術理事 半部 英敏 gakujyutu8403@yahoo.co.jp

—医療画像情報精度管理士部会—
「医療画像情報精度管理士移行講習会」
開催のご案内

< 医用画像情報管理士を対象 >

第一回

日 時：平成 24年10月14日(日) 13:00～18:00
(時間は予定)

場 所：兵庫医科大学 4-1講義室
西宮市武庫川町1-1

第二回

日 時：平成 24年12月 9日(日) 13:00～18:00
(時間は予定)

場 所：明石市立市民病院 2階 講義室A
兵庫県明石市鷹匠町1-33

受講料：会員1000円 会員以外2000円
(ただし、確認試験料を含む)

定 員：各会場30名 先着順
(人数に達した場合には、他会場で受講していただく
場合があります。)

<内容>

1. DVD 視聴 (画像評価、処理) 120分
2. 確認試験 20分

試験に合格(履修終了)することで医療画像情報精度管理士
に移行出来ます。

<申込方法> 平成24年9月1日より受付開始

FAXにてお申し込み下さい。

『医療画像情報精度管理士移行講習会受講希望』と記
載の上 ①氏名 ②所属 ③連絡先電話番号 ④メール
アドレス⑤希望会場 を明記下さい。

※ 兵庫県放射線技師会事務所(078-351-2309)ま
で FAX 送信にてお申し込み下さい。

※ 締め切り 9月23日 兵庫医科大学

11月18日 明石市立市民病院

※なお、同時に医療画像情報精度管理士部会も開催します
ので併せて参加をお願いします。

連絡先：兵庫県放射線技師会 担当理事 尾崎 隆男

TEL 0798-45-6150(直通)

E-Mail : rt4300@hyo-med.ac.jp

—厚生委員会—
ビリヤード同好会からのお知らせ

残暑厳しい毎日ですがビリヤードハウスは涼しいですよ。
どうぞお越しください。初心者も大歓迎です。

日 時：平成24年9月29日(土) 15:00～18:00

参加費：会員 500円 一般1000円

場 所：SUN (JR 元町 北側へ徒歩1分)

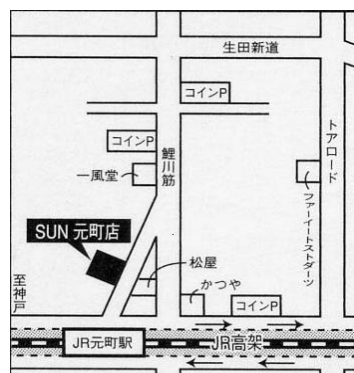
TEL 078-321-5135

(車で来られる方→鯉川筋北へ少し走ったところに
パーキングあり)

世話役：神戸労災病院 中央放射線部 木村・興津まで

TEL 078-231-5901

※参加していただける方はご連絡下さい。



—厚生委員会—
第 18 回新入会員歓迎交流会
のお知らせ

日 時：平成24年10月20日(土)～21日(日)

場 所：但馬長寿の郷

〒667-0044 養父市八鹿町国木594-10

たくさんの方々の参加をお待ちしております。詳細は今後の
兵放技ニュースでお知らせします。

厚生委員 原

—広報委員会—

会員専用サイト(member's site) 入室用IDとパスワードの発行

本会ホームページの「ID・PASSWORD発行」をクリック！！
入力後、ご登録いただいたメールアドレスへ「IDとPASSWORD」を発信します。これを用いて、「member's site」へ入室下さい。
一度取得されたIDとPASSWORDで、月が替わっても入室できます(ID、PASSWORDは自由に変更できます)。

現在、「会員専用サイト」では「求人・求職情報」「調査報告」等が閲覧できます。



—阪神支部—

第1回阪神支部学術勉強会 のお知らせ

日 時：平成24年9月13日(木) 19:00~21:00

場 所：尼崎市中小企業センター504号
(阪神尼崎駅より徒歩約5分 北東へ350m)
〒660-0881 尼崎市昭和通2-6-68
TEL 06-6488-9501

参加費：会員、会員以外500円(軽食付き)

内 容：支部長挨拶 兵庫医科大学病院 前田 勝彦
司会 兵庫県尼崎病院 伊関 嘉一

1. 「当院の地域医療連携における画像配信の現状」
尼崎病院 検査・放射線部 水口 健二郎
2. 「地域医療連携とクラウドの今後の可能性」
ピー・エス・ピー株式会社
エンジニアリング統括部長 佐藤 憲臣
座長 関西労災病院 吉岡 光雄
3. 「3. OT MRI を使用した先天性子アノーゼ疾患に対する
術後 Q-Flow の紹介」
尼崎病院 検査・放射線部 田島 将行

お問い合わせ先 兵庫県立尼崎病院
検査・放射線部 水口健二郎
TEL (06)6482-1521(内線 280. 281)

—西播支部—

第75回画像研究会のご案内

謹啓 猛暑の候、先生方におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、この度下記の要領にて「第75回西播支部画像研究会」を開催させていただきます。

本会は、診療放射線技師の撮影技術・医療知識の向上を目的としております。諸事ご多忙のことと存じますが、是非ご参加賜りますようお願い申し上げます。 謹白

記

日 時：平成24年9月13日(木)19:00~

場 所：姫路市商工会議所
姫路市下寺町43 TEL 0792-22-6001

講 演：

- 1 「循環器領域の造影 CT 検査について」
兵庫県立姫路循環器病センター 検査・放射線部
課長補佐 診療放射線技師 伊沢 一郎 先生
- 2 「心臓血管外科—最近の進歩—」
兵庫県立姫路循環器病センター 副院長 向原 伸彦 先生
参加費：会員・非会員・一般 500円
尚、当日軽食をご用意させていただきます
連絡先： 医療法人社団汐咲会 井野病院 本郷 博之
TEL 079-254-5553
共催 西播支部画像研究会

—東播支部—

平成24年度 東播支部親睦会 のお知らせ

今年もボーリングと焼肉で親睦を深めましょう。多数のご参加をお待ちしております。

日 時：平成24年9月22日(土)

場 所：(1次会)フタバボール明石店 17:00~
参加費1000円
(2次会)神戸ホルモン本舗 18:30~
参加費2000円

1次会のみ、2次会のみ参加も歓迎いたします。

なお、人数確認のため参加ご希望の方は、9月12日(水)までにご連絡をお願いします。

問い合わせ先： 明石市民病院 放射線科 片山 卓也
TEL 078-912-2323(内線2150)

第244回神戸頭部研究会からの お知らせ

残暑の厳しい日々が続いておりますが、今年の夏は皆様どのようにお過ごしになりましたか？自身は最近ジムに通い始め、1kgの減量?!が見られ大喜びしている次第です。さて、残すところあと2回となった定例会も、盛り沢山の内容で進めてゆきたく思っております。今回の定例会は練りに練って現在企画中です!! 後日はがきにて詳細をお知らせしますので、宜しくお願い致します。

また、神戸頭部研究会特別講演会を11月10日(土)に開催します。脳外科学の分野ではご高名な岐阜大学大学院の吉村紳一先生をお招きしご講演いただきます。乞うご期待!!

(田上修二)

題目：「企画中!!」

日時：平成24年9月12日(水)19:00～21:00

会場：神戸市立兵庫勤労市民センター第3会議室

TEL 078-576-0981(JR兵庫駅北すぐ)

会費：会員・非会員・一般 500円

連絡先

吉田病院 放射線科 森 勇樹

TEL 078-576-2773

皆さん、お誘いあわせの上きて下さい。きっと満足してもらえと思っています。新人の方もベテランさんも、また他職種の方々もお待ちしております。軽食のサンドウィッチもおいしいよ。

駐車場は数に限りがございますので、公共交通機関をご利用下さい。

問い合わせ先

明舞中央病院 放射線科内 半部 英敏・羽田 安孝

TEL 078-917-2020(内線126)

神戸 MR の会 定例会のご案内

日時：平成24年9月25日(火) 19:00～21:00

場所：神戸リハビリテーション病院 2階会議室

会費：会員・非会員・一般 一律500円

【テーマ】

基礎レクチャー 『疾患概念から画像を考える』

神戸リハビリテーション病院 牧田 明三

実践編 『脳外科病院の最前線』

大西脳神経外科 放射線科 副技師長 佐藤 直隆

お問い合わせ先

恒生病院 放射線科 諏訪

TEL 078-950-2622

第264回はりまCT研究会のご案内

田んぼの稲が金色に輝く季節となりました。いかがお過ごしでしょうか？前回は肩における靭帯の解剖、MRIでの撮影法など深く肩について学ぶ事が出来、よりいっそうの知識を得られたと思います。

今回は最近のCTについて日立メディコ様より、ご講演頂きます。内容としまして、被ばくの管理、画像処理法、心臓・大腸の撮影技術といった様々な分野について学んで行きたいと思っております。更に症例検討会も予定しております。写真は患者様の状態一つで変化してしまうものです。その微妙な変化に気付ける力を養っていきましょう。

テーマ：最近のマルチCTってどーなの？

日時：平成24年9月14日(金)19:00～

場所：明舞中央病院 西館1F会議室(駐車場有)

会費：会員・会員以外・一般 500円(軽食付き)

講師：株式会社 日立メディコ CT・MR 営業本部

近畿CT・MR 営業課 清水 一輝 様

症例検討会：はりまCT研究会世話人施設

CoCIT2012 夏 開催のご案内

盛夏の候、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。この度、『CoCIT2012夏』を下記の予定で開催する運びとなりました。

皆様の参加をお待ち申し上げます。なお、今回より新たにCoCITが、IVR看護師学術集会に認定され5単位が付与される事となりました。

記

日時：平成24年9月8日(土)14:00～17:00

場所：神戸大学医学部附属病院 大講義室

(病院南側 学生ホールより入場)

会費：500円(事前登録不要)

プログラム

●14:00：開会挨拶 CoCIT 会長

神戸赤十字病院 古東正直

◆14:15-15:15：レクチャー

①『日常点検～当院の一工夫～』

兵庫医科大学病院 中央放射線部 前田勝彦(RT)

②『TABPの基礎知識』

兵庫医科大学病院 臨床工学室 武西友幸(CE)

③『急変サインを見逃すな!!』

～アンギオ室で起こる合併症について～』

神戸大学医学部附属病院

救急・放射線部 本澤利枝/前川愉都(Ns)

◆15:25-15:40 : パフォーマンス

『今日はこれだけ覚えよう!』

指でなぞる心電図(APC,VPC,Af,AF,VT,VF 編)』

市立加西病院 中央検査科 糸口 耕平 (CE)

◆15:45-17:00 : レクチャー

『とても役立ってます★』

カテ室における工夫! あなたの施設は?』

市立加西病院 中央放射線科 岩崎訓典 (RT)

兵庫医科大学病院 中央放射線部 池内陽子(RT)

神戸大学医学部附属病院

救急・放射線部 前川愉都/本澤利枝(Ns)

神戸市立中央市民病院 放射線技術部 岸田絵美(RT)

三田市民病院 外来 I 放射線科 大槻貴美江(Ns)

●17:00 : 閉会挨拶 CoCIT 代表世話人

県立加古川医療センター 中原 誠

※新規認定→IVR 認定看護師 : 5単位!!

※血管造影・インターベンション専門技師 : 1単位

※救急撮影認定技師 : 2単位

問い合わせ先

神戸大学医学部附属病院 放射線部 甲山 吉井

TEL 078-382-6384(カテ室)

CoCIT ホームページ <http://cocit.web.fc2.com/>

兵庫イメージングカンファレンス(HIC)

開催のご案内

本会は毎月第四木曜日に開催しています。9月は下記のとおり開催を予定しています。

今年度は「明日からの業務に役立つ画像検討」を主題として、急性期疾患から慢性期疾患まで、モダリティに関しても多岐にわたり実際に直面した臨床画像の検討及び解説を行っています。

6、7月度実績 :

「リンパの基礎から」、「自然気胸」、「化膿性脊髄炎」 etc...
参加しやすい雰囲気作り心がけていますので、今年度から技師になった皆様をはじめ、お誘い合わせの上ご参加お願い致します。

記

日時 : 平成24年9月27日(木) 19:00~21:00

場所 : 神戸百年記念病院 兵庫区御崎町1-9-1
市バス吉田町2丁目下車 御崎公園裏(山側)
※駐車場無料

参加費 : 500円

お問い合わせ先 代表世話人 甲南病院 渡辺 良真
TEL : 078-854-4080(直通)
Eメール : ko_housyasenbu@kohnan.or.jp

第15回兵庫乳房画像研究会のご案内

第15回研究会を下記のとおり開催いたします。今回は正常乳腺とFADや構築の乱れなどの見極め方を、マンモグラフィガイドライン第3版の変更点と絡めて西宮市立中央病院の林田先生にご講演頂きます。また、読影環境がフィルムからモニタに移行した時におけるカテゴリー分類の注意点を先生の経験からお話していただきます。今後のカテゴリー分類に役立つ講演内容となっていますので、皆さん奮ってご参加ください。

尚、当日は皆様に先に症例を確認頂き、その後講演となりますのでよろしくお願致します。

記

日時 : 平成24年9月27日(木) 18:15開場

会場 : 医療法人社団 神鋼会 神鋼病院

新棟5階 大会議室

<http://www.shinkohp.or.jp/contents/access/index.html>

参加費 : 500円(飲み物含む)

内容 :

18:15~19:00 受付 症例確認

19:00~20:00 講演「マンモグラフィの読影テクニック
(FAD、構築の乱れを中心にカテゴリー
分類を極める)」

西宮市立中央病院

外科部長 林田 博人 先生

20:00~

症例見直し

代表世話人 : 久保 和広(先端医療センター)

当番世話人 : 井上 泰彦(県立西宮病院)

廣瀬 美由紀(神戸百年記念病院)

事務局連絡先(Eメール) 神鋼病院 画像診断室内 長井
hyogo_breast@yahoo.co.jp

西神戸医療センター 中放部カンファレンス
のご案内

前回のITCでは3TMRI装置の概要が中心で行いましたが、今回は脳神経領域の3TMRIの撮影検査方法と診断・手術について当院の技師と脳外科医師に話をさせて頂く事になりました。皆様お誘い合わせの上、多数ご参加下さいますようお願い致します。

日時：平成24年10月2日(火) 18:00～19:00

会場：西神戸医療センター 西館 大会議室
外来駐車場内の建物2階です
エレベーター横の階段をご利用下さい

内容：

「3T装置での頭部特殊検査撮影方法について
～MRS・DTIを中心に～」
西神戸医療センター 放射線技術部 森 克人 技師
「最近の脳神経領域における画像支援手術について」(仮)
西神戸医療センター 脳神経外科医長 西原 賢在 先生

お問い合わせ 西神戸医療センター 放射線技術部 竹本
TEL (078)993-3760

求人情報

詳細ご希望の方は兵庫県放射線技師会まで

※郵送された「シャウカステン」本誌
もしくは
HP内「会員専用ページ」をご覧ください。

～JARTより～

診療放射線技師基礎講習
近畿地域開催について

今年度、近畿地域で開催される(公社)日本診療放射線技師会 診療放射線技師基礎講習を下記のとおり予定しております。また、詳細は当会ホームページにて確認下さい。申し込みについては JART ホームページよりお願いいたします。

「消化管検査」

期日：平成24年10月28日(日)
場所：大阪がん循環器病予防センター

問い合わせ先 三木市民病院 後藤 吉弘
TEL 0794-83-5000 (内線2280)
e-mail : yoshihirogotoh@yahoo.co.jp

会費納入はお済みでしょうか？

本会は皆様の会費によって運営されています。
会費納入期限が9月30日となっております。
スムーズな会務運営のため、できる限り早期での会費納入にご協力いただきますよう、お願いいたします。
日本放射線技師会から届いております会費納入払込伝票にて、早期の会費納入にご協力くださいますようお願いいたします。

会費納入状況（平成24年7月31日現在）

会 員 数：1,276名

会 費 納 入 率：51.80%

会費未納者数：615名

（前年度会費未納者数47名）

～医療制度改革特別委員会～

診療放射線技師のための医療経済学入門講座 Vol.5

<医療の不確実性>

格：2回続けて非対称情報の話しをしてきたけど、それと同じくらい重要なのが不確実性の問題なんだね。今回は一気にいっちゃうよ。

助：あいよ。不確実性っていうと、確実じゃないということだから、わからない、ということかい。

格：そうだね。これからの話しはアローの論文「不確実性と医療の厚生経済学(1963)」を参考に進めたいと思う。そこでだ、危険と不確実性というのを考えてみよう。

助：違うんだ。

格：危険はある程度確率的に判断できるという表現をする人もいる。リスクとも言うね。そして不確実性はわからない、ということ。日常生活を考えよう。日常生活を送っていていろんな危険が存在すると思うけど……。

助：あるある。泥棒にはいられるとか、事故にあう、株で損するなんてね……。

格：そこで、医療、病気について考えるよ。医療に関連する危険は2種類ある。ひとつは病気になるという危険、もう一つは元の健康状態に回復するか否かという危険だね。

助：なるほど。

格：そして、これら危険によって、いろんな損失がある。

助：入院費や仕事ができなくなって収入が途絶える、そういう損失だね。

格：これら損失は、保険という形で保障できるものもあるよね。

助：あっしも一応保険に入ってるよ。

格：じゃ、病気になってしまった、そして治療をしなければならぬ、要するに病気というリスクが現実になった。そうすると、次は……

助：いろんな心配があるよ。治るのかな？何の病気かな？なんて……。

格：そうだよね。で、診断がついて治療方針が確定したとして、薬を飲んだり手術をしよう。そうした場合、リスク(危険)もあるけど治療効果という点で考えると、そこには不確実性、わからないことがあるんじゃないかな。

助：うん??

格：そしたら、この場合の不確実性を2つに分けてみるよ。ひとつは医学的治療効果の不確実性だ。もう一つは医師の処置等にまったく関係しない不確実性、すなわち予見できないものがある。

- 助：ここにも2つあるのか。
- 格：医療関係者なら、なんとなくというか、よく理解できるよね。
- 助：薬が効くかどうかかわからないということかい？
- 格：同じ病気の人に同じ薬を処方しても、その人によって効き目は違うよね。時にはまったく効果がない場合もある。それは患者個々の個別性の問題もありその治療が効くかどうかは医師にもはっきりとはわからない。
- 助：でも医師はある程度の効き目？はわかっているんじゃない？
- 格：それは、経験的にその治療効果を理解しているということで、この患者にはこのぐらい効くという判断は難しんじゃないかな？
- 助：その薬が効いたとしても時間に差が出るかもしれないしね。
- 格：それと医学的処置とは関係ない不確実性は、いわゆる急変なんかがあたるかもしれない。
- 助：予期せぬ急変。
- 格：可能な限り予測はするだろうけど、すべてとはなかなかね……、個人的な問題もある。
- 助：そりゃそうだ。神様じゃないんだから。
- 格：そうしたらだ、このような不確実な中でもし病気が治らなかつたら、誰の責任だい？
- 助：そりゃ～～～……。
- 格：医師かい？
- 助：でも一所懸命やっての結果だったら……。
- 格：だよな。じゃ、患者？
- 助：そうとは言えないよね。
- 格：判断できないよね。それに重要なことなんだけど、病気って大きな病気ほど繰り返すことは少ないよね。
- 助：一回きりの経験ということのほうが多い。
- 格：そうすると、他と、たとえばこの前はあの病院でこんな感じだったけど、今度はこちらの病院でやってみよう、そして、う～～ん、前の病院の方が良かったな～、なんてことは……。
- 助：まずないね。経験も一回きりが多くて繰り返しが少ないし、比べることができる情報も患者側にはそう多くない。
- 格：比較ができないんだよね。だから、患者自身の自己責任とも言えないし、医師に追求することも難しい。
- 助：前と違うぞ……なんてわからないし、言えない。
- 格：医師は違った患者で経験しているから、その知識でもって最善の治療をする。そしたら、本当に責任なんて判断できないよね。
- 助：天命？
- 格：そう言える時もあるかもしれない。そしたら、責任論で保険というのを考えてみるよ。もし、病気が治らなかつたら、思った以上の回復ができなかつたら、要するに治療しても利益が得られないとすれば保険料は一切払わなくてもよい、という保険があったらどうだい？
- 助：そんな無理だよ。そんな聞いたこともないよ。
- 格：ある意味、これは理想だよな。そう思わない？患者は治療効果に応じて支払えばいいんだから。
- 助：そうかもしれないけど、無理だよ～～。
- 格：……だよな、現実は無理だよな。逆に医療関係者は怖くなってしまふよね。当然のこととして医療関係者は医療、治療には不確実性が存在しているというのは痛いほど分かっているんだから。それでもやるだけのことはやる。
- 助：でも、思った結果が得られないこともある。
- 格：それを糧にして次に生かそうとね、時には涙して……。
- その繰り返しじゃないかな。でもね、ちょっと話しはされるけど、最近医療訴訟が少なくなったのか報道の過激さがなくなったのか、少し前は、結構報道されたよね。
- 助：うんうん、多かった。
- 格：確かにミスというものもあったかもしれない。でも多くは一所懸命治療した結果で起こった、予期せぬ状態になったとも言えることもあるんじゃないかなと思う。そうすると、さっきの話しなんだけど不確実性がある中で、まるでそんなものはないという感じで患者が捉えていたとしたら、それを許さないとしたら、それで訴訟だなんてことになっているとしたら、医師はじめ医療関係者はやっていけないよね。
- 助：裁判でも結構厳しい判決が出たりして……。
- 格：萎縮医療、防衛医療なんて言葉が生まれたりした。
- 助：確かに立ち去り型サボターージュって言葉は、過労だけじゃなしにこんなことも影響してるんじゃないかな、なんてね。
- 助：患者からすれば、それだけ医療に期待しているってことなのかもしれないけど
- 格：そうだよな。患者は期待しているし、我々は期待されている。
- 助：……、不確実性が～～、考えさせられるよ。
- 格：考えさせられるついでに、もう少し考えてみようよ。医療にとって不確実性や情報の非対称性というのは常に存在してなくなることはない。だけど、話しはこれで終わりじゃないんだ。じゃ、その不確実性や情報の非対称性はどう対応するかということになる。その話しを

したいんだけど、ちよいと場所を変えてもう一杯行こうかね、助さん。

助：その言葉待ってたよ。

格：静かなバーでも行こうよ。そこで、ゆっくり話そうじゃないか

助：…静かだね。誰もいない、何もないけど、ゆっくり話すには丁度いいね。ハイボールとチョコをもらおうかな…。

格：さて、話しの続きだ。医療には不確実性もそして情報の非対称性もある。そうだよ。

助：そうだよ、いろんな弊害があった。

格：じゃ、このような不確実性と情報格差が顕著な医療において、どのようにして医師はじめ医療従事者と患者が病気に立ち向かえばいいんだろう？

助：難しいこと聞くね。

格：助さんならどうだい、これだけ不確実で自らの病気のこともよくわからない、情報劣位にある患者としては。

助：そうだね…なんらかの保証があれば…少しは…。

格：だよ。医療には不確実性もそして情報格差もある。そうすれば、患者はなんらかの保証を得て治療に望みたいと考えるよね。

助：うん。

格：今からする話しは患者に対する保証の話だよ。まずは情報の非対称性への対応だ。先に話した、医師が患者のために最善を尽くすというのは、いわば契約だね。医師が代理人(agent)で患者が依頼人(principal)ということになる。患者は医師ほど情報量を持っていないんだから、自分の身体で何が起きているかを判断する事はそう簡単じゃない。まして、どう治療すればいいかなんてわからない。だから、情報優位の医師に病気を治してくれるよう委任する。

助：任せるんだね。

格：そう。そして医師は患者の代理人として行動し、また、真の代理人であり続けるためには医療の質を落とさないよう社会的義務を果たそうとする。

助：一生懸命にやる

格：そう、そうすると…。

助：…。

格：信頼関係がうまれる。そこには、見えないけど信頼関係が存在する。

助：ほう…。

格：信頼関係が成立すれば、医師はその関係を維持する社会的責任が生じる。だから、たとえば医師は自分の利益を極大化する行動はできなくなり、利潤を追求するんじゃないしにできる限り患者のために行動する。ここに信頼と委任の関係が成立する。

助：信頼ね～～。利潤じゃなく、患者にとって最良の医療を提供する。医療は非営利ともいうしね。

格：その通り。だから、利潤という言葉は信頼を否定するシグナルともいえる。

助：でも、最近…。

格：言いたいことわかるよ。診療報酬が切り下げられて病院も大変だ、だろう？

助：そうそう。

格：でもね、医療の場合は社会的要因や倫理的要因が重要になってくるということは、みんなが気付いているんじゃないかな。医師や医療関係者みんながね。患者は、それらは当然として期待しているだろうし。

助：なるほど…、でも、病院経営や効率的業務改善とか、医療環境は変わってきてることも事実だよ。

格：医学的最適性と経営的最適性、この両者の乖離が大きい、大きくなっているんじゃないかな？その狭間で医療関係者は悩む…。自己利益の追求で最適は得られない…とかね。

助：その通り、困ったもんだよ…。

格：でも、この心理的な信頼関係というのは医療にとって特有であり重要なんだ。そして忘れてはいけないんだよ。助さんもかかりつけ医やいつも診てもらおう医者さんであるだろう。

助：あるよ。あつしなんかは自分の病院でお世話になっている先生もいるし、家の者なんかは近所の開業医にいつもお世話になっている。

格：長い付き合いになるんだ。

助：そうだね、長いね。

格：だから信頼関係は構築できてるんだ。

助：そう思うよ。

格：同じなんだよ。この事を拡大して医師はじめ医療従事者あるいは病院と患者が社会的に信頼関係で繋がっているってことが大事になってくる。そしてそれを維持しないとイケないんだと思う。市場的な関係じゃなしに…。

助：非市場的な関係だね。

格：じゃ次だ。信頼と委任の制度というのは情報格差がある場合の問題を処理するための社会制度といえる。それじゃ、不確実性にはどう対処すればいい？

助： どうするんだい

格： 厳格な参入資格制度。

助： ……？

格： 要するに免許制度だよ。免許というのは、その行為を許されているってことだよ。

助： そうだよ。

格： 許可されているってことは、それを行うにあたり一定水準の基準をクリアして社会的にも認められているということになる。

助： おいらは診療放射線技師だし、医療界には医師はじめいろんな免許があり協力して医療が行われている。

格： そうすると、患者は病気になるって、どうなるかわからないという不安の中で、要するに不確実性の中で医師に任せておこうとか、検査するときは我々に任せておこう、免許資格のある専門家に委ねようとかね。そういう思いで委任する。

助： なるほどね、そういうことか。

格： さっき、信頼と委任制度は情報の非対称性を縮減すると言ったけど、この免許制度と併せて不確実性への不安にも対応しているんだ。

助： 言われて見れば、うまくできているように思うね。

格： そしたら、免許、資格をもう少し深く考えてみよう。免許制というのは無資格者の参入を直接排除するよね

助： 試験に合格しなければやってはいけない。

格： そう。でも、免許があれば何でもというのはどうだい？

助： 範囲が広がったり、専門的になったりすると、それではうまくいかないんじゃないかな…。

格： そうだね。だから複雑な免許制にするとか、免許を段階的にするなんてこともあり得るかもしれない。

助： 医師の場合だと専門医師とか、看護師も専門看護師や認定看護師があるよね。

格： 専門に分かれていく。専門分化だね。それともう一つ。思い切って免許制度というのを考えない、採用しない。

助： ええ～～～、自由ってこと？

格： そう、自由は何でもできる。ただし、消費者に選択を委ねる、医療なら患者に委ねる。これどう？

助： それはちよつと、無謀だよ。怖いよ…。

格： だよ。医療では自由放任は社会的コンセンサスを得られないよね。

助： 格さん、すごいこと言うからびっくりしたよ。

格： 何が言いたいかというただね、今、医療界ではたくさんの免許があって多くの人が働いている。そして、医療は日進月歩、日々進歩している。だから、それぞれの免許職の中でも専門性が出てきた。ひとりではすべてに対応できなくなってきたと言ってもいいかな。さっき言った専門医師とか、看護師も専門看護師や認定看護師というのが生まれてきたのかもしれない。そして、我々診療放射線技師の世界でも専門や認定の動きがあり実際に活躍している。これって時代の要請なのかもしれない。

助： 確かにそうだよ。あつしの回りの仕事も複雑になっているよ。

格： 時代の要請っていうことは、その時代に生きている患者もそのことを知っているってことだよ。

助： そりゃそうだ。

格： そうすると、我々が専門や認定資格をとるってことは患者に対して医療の質を担保していますよ、あなたのために最大限の知識をもって診療にあたっていますよ、というメッセージになるんじゃないかい。

助： その通りだよ。

格： 最初の話しに戻れば、この専門や認定資格が患者の持つ医療への不確実性への不安を和らげること、そして、情報の非対称性の存在の中で情報劣位の患者に対して信頼と委任の関係を通して安心を与えられるってことになるんじゃないかな…。

助： 患者も選択の基準が明確になるとも言えるよね。

格： ここまで見てきたように、医療というのは一般的な市場とはかなり違った特有の性格を持っている。そして社会的、心理的要因がとても重要だということだよ。社会がいくら先進的になろうとも、人間関係、その中でも家族の関係が果たす役割は無視できない、direct service なんだよ。経済的關係がけで繋がっているんじゃないよね。そう思わないかい？

助： そう思うね。

格： アローは最後にこう言っている。「個人的・家族的关系は、行動に保証を与える非市場的关系を基礎としているが、もしもこの種の人間関係が存在しなければ、多すぎる不確実性に苦しめられることになってしまうであろう」とね。もし信頼関係が成立しなかったら、世の中何を信じて行動したらいいのわからなくなって行動できないということ。

助： 世の中、市場的關係だけで説明できないこともあるってことだね。

格： 市場的關係だけで説明しようとすれば無理が生じるってことかな。

助： 非市場的關係か～～、そして信頼ね～～。ほんと深いね～～。

格： 深いだろう。おいらの師匠もこの信頼を研究されているんだ。だから、おいらも少しばかり…。

助： ところで、あつしと格さんは市場の付き合いじゃないよね…。

格： どうかな？？時には経済的關係をお願いしようかな…。

助： それどういふこと？

格： この店の支払いは助さんに任せるってことだよ。

助： そりゃないよ～～・・・。

格： ごちそうさん。

<文責： 蓬萊洋一（市立小野市民病院中央放射線室 経済学修士）>

参考文献

K.J.Arrow 「Uncertainty and The Welfare Economics of Medical Care (1963) 」(邦訳田畑康人 国際社会保障研究 1981)

宇沢弘文 「社会的共通資本」岩波新書

蓬萊洋一 「医療の質を確保するための技術評価と報酬制—DPC 制度と診療放射技師の診療行為—」日本放射線技師会会誌 vol.59 No.716 (2012)

《9月スケジュール(シャウカステン掲載分)》

9/1	(土)		
9/2	(日)		
9/3	(月)		
9/4	(火)		
9/5	(水)		
9/6	(木)		
9/7	(金)		
9/8	(土)	CoCIT2012 夏	p.4
9/9	(日)		
9/10	(月)		
9/11	(火)		
9/12	(水)	第 244 回神戸頭部研究会	p.4
9/13	(木)	第 75 回画像研究会 第 1 回阪神支部学術勉強会	p.3 p.3
9/14	(金)	第 264 回はりまCT研究会	p.4
9/15	(土)		
9/16	(日)		
9/17	(月)		
9/18	(火)		
9/19	(水)		
9/20	(木)		
9/21	(金)		
9/22	(土)	東播支部親睦会	p.3
9/23	(日)		
9/24	(月)		
9/25	(火)	神戸 MR の会 定例会	p.4
9/26	(水)		
9/27	(木)	兵庫イメージングカンファレンス 第 15 回兵庫乳房画像研究会	p.5 p.5
9/28	(金)		
9/29	(土)	ビリヤード同好会	p.2
9/30	(日)		

《10月スケジュール(シャウカステン掲載分)》

10/1	(月)		
10/2	(火)	西神戸医療センターカンファレンス	p.6
10/3	(水)		
10/4	(木)		
10/5	(金)		
10/6	(土)		
10/7	(日)		
10/8	(月)		
10/9	(火)		
10/10	(水)		
10/11	(木)		
10/12	(金)		
10/13	(土)		
10/14	(日)	医療画像情報精度管理士講習会	p.2
10/15	(月)		

ニュース原稿等の投稿について

ニュース・ご意見は、下記いずれかの方法でお送りください。FAXご利用の方は送信元のFAX番号並びに送信者氏名の記入をお願いします。

なお、電子メールをご利用の方は、悪質なウィルスメールとの鑑別のため、お手数ですが件名の一部に「シャウカステン〇月号」の記入をお願いいたします。
(不明なメールに関しては、開封せずに消去することがあります。)

原稿締切日は 前月の第3木曜日です。

E-mail : hyogo_gishikai_koho@yahoo.co.jp

(添付ファイル形式 Microsoft Word)

FAX : 078-382-6429

郵送 : 〒650-0017

神戸市中央区楠町7-5-2

神戸大学病院 放射線部

吉井 勝 宛